

□議員名：矢田松夫

1 JR美祿線・小野田線利用の活性化について

論点	利用促進に陰りが見えたような感じがしないか。
回答	沿線3市の美祿線利用促進協議会と市長が発起人となっている市JR美祿線・小野田線利用促進協議会で利用者の声を聞き、息の長い継続性のある取組みをしている。

論点	乗って残そうではなく、通年的に利用者の声を聞くべきだ。
回答	パークアイランドの考えを念頭に置き、生活路線として利用促進を構築することが最善。利用者からの提案や意見反映をしていきたい。

論点	利用者が減少をするから減便をする。減便をするから利用者が減る現象についてどう思うか。
回答	まさにそのとおりであるが、利用者がいないのにJRに負担をかけると負担が原因で全廃となる。

論点	美祿線の乗れない車両から乗れる車両を提案すべきではないか。
回答	7時34分発の車両について、幹事会にて強く要請をしていく。

論点	JRに要望をすると廃止化に加速がかかる考えは今もあるのか。
回答	負担を求めない利用促進策を考えていく。

論点	厚狭川新橋付近に簡易な停留駅を設置する気はないか。
回答	重要な情報としてJRに提案をしていきたい。

2 市公園の利用について

論点	公園管理の実態から見直しを図るべきではないか。
回答	維持管理ができていないから利用者の減少がある。緑の基本計画を策定するなかで公園の適正配置について検討をしていく。

論点	旧山陽地区児童公園の実態についてどのような判断をしているのか
回答	今回の調査資料に基づき、維持管理について検討をしていく。

論点	廃止を含めて事業仕分けの時期に来たと思わないか。
回答	廃止や整備について、緑の基本計画を二年、三年内に策定をする。簡単に廃止はできない。全体的に見直しをし地元の意見を聞く。全く要らないとなれば売却したい。25年度内に関係課と調整する。

3 観光振興について

論点	観光という課名がプラスされ変化があったか。
回答	新たな名称により観光情報、観光パンフレットの希望や宿泊先、イベントの照会は増加してきた。

論点	本市の特性を生かしての観光ツアーができないか。
回答	本市に係る産業観光を推進する地区会議で市内の意見を聞き、新しいツアーの企画、内容の充実を考えていく。